

事業評価シート

事務事業名	奨学資金事業	担当課名	学務課
総合計画の 主要施策名	個性と創造力をもつ子どもの育成	班 名	学務班
		事業コード	4233

事業の目的	奨学資金は、教育機会均等を保証するため、経済的理由により大学、高校の修学困難な者に対し、学資を貸与し、有用な人物の育成を目的とする。			
事業の内容	上級学校に在籍し、経済的理由で就学困難な者に対して資金を貸与する。 ・高校 月額15,000円 ・短大、専門、大学 月額40,000円			
事業の対象	奨学生を志望する者で、次の条件を具備する者 (1) 身体強健、品行方正で学業優良な者 (2) 美郷町住民の子弟 (3) 学資金に困難である者			
事業費	年度・区分	平成20年度決算	平成21年度決算	平成22年度予算
	金額	23,854 千円	17,673 千円	25,659 千円

事業の効果等	<p>募集については、町広報(3月号、4月号の2回)とホームページに掲載し周知した。貸与については、応募者(うち辞退を除き)すべてに予算の範囲内で貸与を決定。償還については、低所得者を対象としている制度であるので馴染まないが、回収率の向上に努めている。</p> <p>歳出:H21年度 奨学生応募者数 19名 貸与者数15名(辞退4名) 歳入:平成21年度未納額 1,976,700円 (収納率96.8% 滞納者18名(うち新規滞納者6名))</p>
--------	---

事業の 評価	必要性(町民のニーズに変化があるか。事業を行う必要性があるか。)			
	増加	横ばい	減少	かなり減少
	有効性(施策や運営方針等目的の実現に寄与しているか。)			
	十分寄与する	概ね寄与する	あまり寄与していない	できていない
	経済・効率性(事務効率化、コスト縮減しているか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
内部評価	目標達成度(計画通りに目標を達成できたか。)			
	十分できている	できている	あまりできていない	できていない
判定説明 及び考察	<p>貸与については、予算の範囲内で応募者すべてに対応できている。償還については、歳入確保に向けて、未納者への催告の回数を増やす等対策を行っているが、長引く経済不況の影響のため新たな未納者が6名増加した。低所得者への制度であるが、回収率の向上に努めたい。</p>			
事業の 方向性	さらに重点化する 事業の縮小を検討する	現状のまま継続する 休止、廃止を検討する	見直しのうえ継続する	

外部評価	A	評価委員意見	返還金が貸与の資金となることを広く周知し、償還について厳しく対応すべき。
------	---	--------	--------------------------------------